

拓水

5月号
No. 284

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
〒652
神戸市兵庫区中ノ島2の2の1
発行人
兵庫県漁業協同組合
会長理事 山田 守 彦
TEL 681-6954~7
部 10月

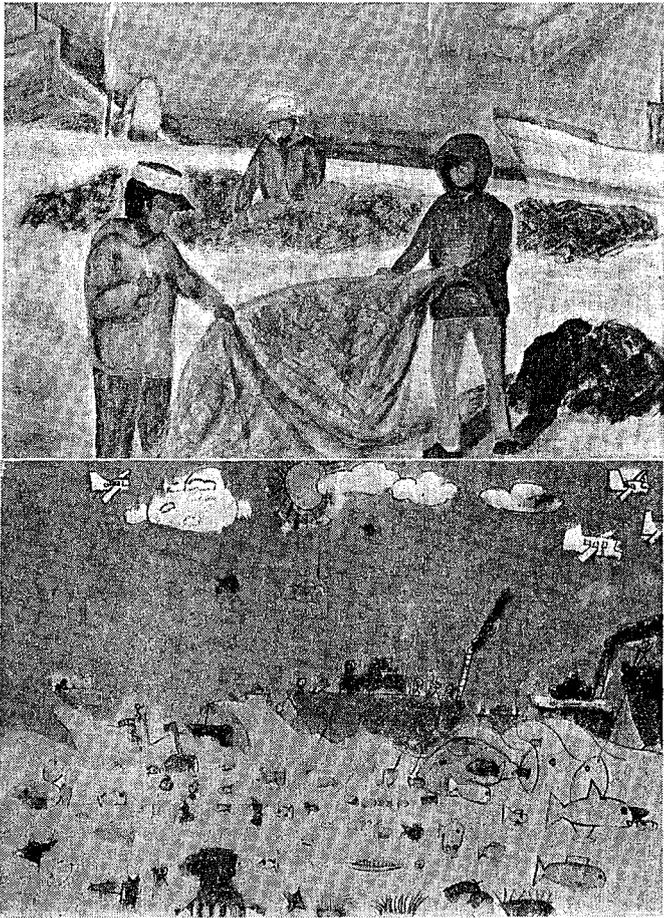
兵庫県漁協貯蓄 三五八億円を達成 信漁連

昭和五十四年度は「全国漁協貯蓄二基門、兵庫県漁協貯蓄五百億円達成運動」の第三年度で、期末残高目標額三〇億四、期中増加額二七億四達成を目標として漁協・信漁連一体とした推進体制でとりくみました。

目標額の設定は、漁業実況による上乗せを得て、決定し、目標達成が危惧された状況の反映と平残運動への移行をおり込んで例年になく、それにもかからず全般低い伸び率となりました。その際には、漁船漁業が振わすた信用事業推進協議会でも、加えて資材燃料の高騰、魚うやく盛り上りをみせ、積み重ねでは目標に達しない不安等きびしい漁業実況の、後意欲的に地元漁協の貯蓄員並びに婦人部員の理解のため、一部漁協の協力を

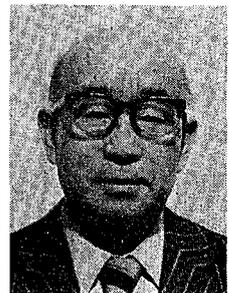
結果、予想以上の成果がありました。さらに特定漁協の抽賞金の貯蓄受け入れ努力が実り、三月末残高三五八億円という偉大な業績をあげ、本県漁協の信用事業が一段と強化されました。

この成果は第一線で活躍の各漁協役員員の努力と組合員並びに婦人部員の理解ある協力によるものです。



□…海の子絵画展 (上)中津 育子さん(沼島中学校3年) (下)立山ゆう一郎君(妻鹿小学校2年)

山田岸松氏 勲四等瑞宝章の 授章に輝く



昭和五十五年春の叙勲、授章者がこのほど発表されました。兵庫県漁業会長山田岸松氏が、永年水産業の

振興発展に尽くされた功績により、勲四等瑞宝章授章の栄に浴された。氏は大正十三年に就漁以来、高潔かつ剛毅闊達な人柄と旺盛な研究心をもつて神戸市西部地域七漁協の合併をなし、漁家経

期間中純増加額55億円

実態を分析すると、本目が多く、自主目標額に一部目標決定の上台となった面上乗せを依拠して三〇億八億を達成し、伸び率八・八

海区別実績(残高)

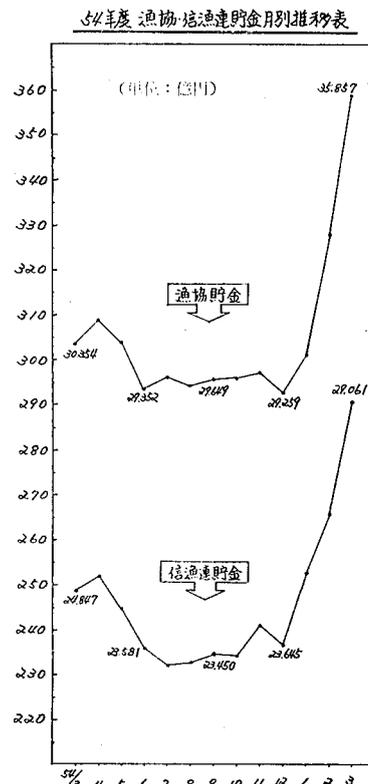
の貯蓄推進体制の一層の強化と、系統貯蓄必要性の浸透になお一段の努力を重ねていきたいと考えます。

但馬海区

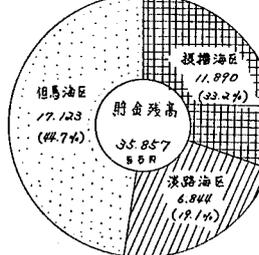
前年度末残高一億五千九百万円、実績一億七千九百万円、目標達成率一〇二・二%

淡路海区

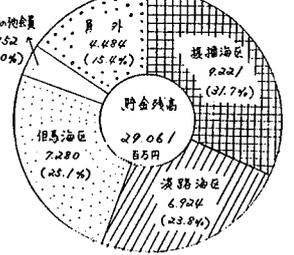
前年度末残高六億二千九百万円、目標額六億九千九百万円、実績六億八千九百万円、目標達成率九八・八%



漁協貯蓄残高海区別内訳 (単位: 4月)



信漁連貯蓄残高海区別内訳 (単位: 4月)



を願っています。信用度の充実に寄与できたことで、各組合の努力に対し厚くお礼申し上げます。さらに本年度も引き続き目標達成に邁進し、漁業実況と、別表月別推移表とおおし、漁協貯蓄の増加をその融の中核体として会員各位の要望にこたえるべく努力いたしますので、同卒ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

の貯蓄推進体制の一層の強化と、系統貯蓄必要性の浸透になお一段の努力を重ねていきたいと考えます。前年度末残高一億五千九百万円、実績一億七千九百万円、目標達成率一〇二・二%。この地区は大型のり養殖漁協が主になっている関係で、貯蓄に対する目頃の啓蒙活動のなかにおいて、神入りの努力が直接実績につながったといえます。



2月の海況と漁況

◎海況

※播磨灘…8～9日実施した調査結果では、東部は各層とも7.5℃内外を示し、平年比較で-1.5℃。北西部は各層とも8.3℃内外で-0.5℃。南西部は各層とも9.0℃内外で-0.7℃それぞれ低目を示し、昨年10月より本年1月までの長期にわたって全域に持続した高水温分布から一転して低水温分布となり前月と比較した水温差は±4.0℃～4.5℃と大幅な数値を示している。

※大阪湾西部(淡路島寄り)…18日実施した調査結果では北部は各層とも8.0℃で-1.0℃。南部は表・中層7.7℃、底層9.6℃で各層とも-2.0℃それぞれ低目を示し、昨年12～1月の高水温分布から大幅な低水温分布となり前月との水温差は±4.0℃～4.5℃を示している。

※紀伊水道北部…18日実施した調査結果では東部は表・中層9.7℃、底層12.5℃を示し平年比較では-0.5℃。中部は各層とも10.1℃で表・中層-0.6℃、底層-1.2℃。西部は各層とも8.4℃で-0.7℃それぞれ低目を示し、大阪湾同様全域にわたって昨12～1月の高水温分布から低水温分布に移向し、前月との水温差は±2.0℃～3.5℃を示している。

◎各地の漁況

(註：以下は1日1隻当りの平均漁獲量@、@は平均単価、何隻は操業隻数)

※明石浦…小型底曳網アマカレイ10キロ@1,200@800、メイタカレイ10キロ@4,500@3,000、マダコ3キロ@1,750、キス7キロ@1,800@300、コイチ30キロ@400、10隻。(大阪湾北西部)コイチ500～1,000キロ@350、3隻。(明石海峡中央部)メイタカレイ15キロ、アマカレイ10キロ、マダコ5キロ、アナゴ3キロ@1,500@3,000、エビ10キロ@2,500、25隻。(播磨灘東部)船曳網イカナゴ親魚1,300～2,000キロ@120～200、1統。曳網スズキ5キロ@2,250、アイナメ3キロ@3,000、40隻。一本釣アイナメ25キロ@3,500@2,500、5隻。各延縄アマカレイ55キロ@1,800@1,300、13隻。アナゴ50キロ@1,500、2隻。文鏡湾イダコ10キロ@1,000、イシカレイ5キロ@900、6隻。

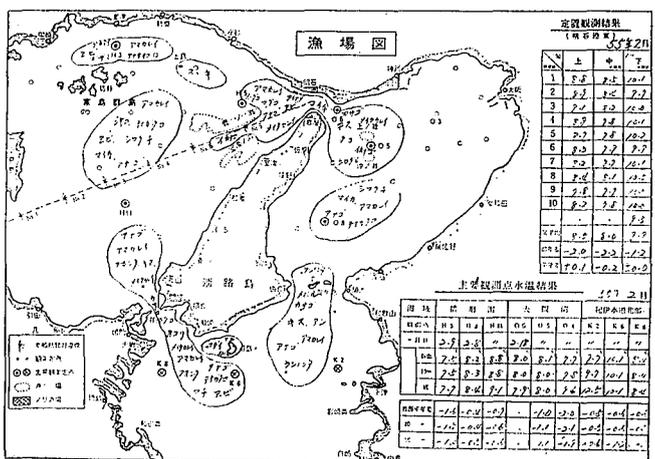
※岩屋…小型底曳網キス10キロ@1,800、アナゴ5キロ@1,250、シログチ45キロ@150その他6キロ@1,000、25隻。コイチ45キロ@460@230、25隻。船曳網イカナゴ新仔700キロ@350～550、5統(2月/18日より操業2月/25日から15統)各一本釣アイナメ2キロ@2,360、メバル3キロ@2,470、カサゴ2キロ@2,700@1,700、スズキ1キロ@2,090、合計70～80隻。延縄アナゴ45キロ@770@1,780、17隻。刺網キス10キロ@1,770、9隻。罾マダコ11キロ@1,200、2隻。

※由良…各小型底曳網ウシノシタ40キロ@1,760、その他4キロ@500、50隻。アナゴ5キロ@2,000、マダコ3キロ@1,420、キス3キロ@1,700、アジ8キロ@1,000、その他10キロ@500、30隻。各刺網キス15キロ@1,700、7隻。アマガレイ5キロ@2,200、ハギ3キロ@1,200、メバル7キロ@2,000、その他5キロ@800、10隻。各延縄キス10キロ@2,200、ハゼ10キロ@700、6隻。アナゴ30キロ@2,000、5隻。カサゴ10キロ@1,700、3隻。各一本釣メバル5キロ@2,000、5隻。カサゴ4キロ@1,600、30隻。突棒アワビ5キロ@2,800、サザエ1キロ@1,300、ナマコ10キロ@1,000、10隻。

※沼島…小型底曳網カワツ2キロ@2,500、ナゴヤフグ10キロ@800、アナゴ13キロ@750、キス10キロ@750、テナガタコ20キロ@420、49隻。各一本釣マダイ1～3キロ@6,500@5,200@3,500、15隻。カサゴ@1,300、キス@1,600、計8キロ、40隻。メバル13キロ@1,500、3隻。延縄アナゴ3キロ@400@800、3隻。刺網アジ50キロ@500メバル10キロ@1,100、カサゴ3キロ@700、23隻。突棒アワビ6キロ@3,000@2,000サザエ3キロ@1,000、ナマコ20キロ@800、6隻。

※福良…各小型底曳網シラサエビ3キロ@5,000、カワツエビ1キロ@1,000、小エビ2キロ@900、小エビ1キロ@200、ガザミ2キロ@3,000@1,200アサヒ5キロ@1,000その他20キロ@800、2隻。アイナメ4キロ@2,000、エイ25キロ@300、メイタカレイ7キロ@2,800、マダコ2キロ@1,250、オコゼ1キロ@5,200、カサゴ8キロ@1,400、13隻。アマカレイ25キロ@1,000@200、メイタカレイ2キロ@2,500、@1,500、アオシタ3キロ@2,100、コチ4キロ@1,500、11隻。船曳網サヨリ135キロ@700、24隻。各延縄アナゴ65キロ@800、10隻。アマカレイ10キロ@1,200、キス4キロ@1,800、7隻。刺網メイタカレイ4キロ@2,000、カサゴ5キロ@1,200、アイナメ2キロ@1,200、5隻。採貝アサリ40キロ@300、4隻。

※特記事項…鳴門海峡で急激な水温低下により2月上旬～中旬迄の間にマダイ親魚が仮死状態で海面に浮遊し常時7～8隻、最高時(1～2日)は60隻出漁し1日1隻当り平均7～8キロ@3,000を拾得した。



3月の海況と漁況

◎海況

※播磨灘…3～4日実施した調査結果では東部は各層とも8.0℃。北西部は各層とも8.0℃内外で海水層ともほぼ平年並。南西部は各層8.0℃内外で平年比較で-0.6℃内外低目を示しているが、前月の低水温分布からほぼ平年並に復している。

※大阪湾西部(淡路島寄り)…15日実施した調査結果では北部は各層とも8.5℃内外で平年比較で-0.5℃。南部は表・中層8.7℃底層9.6℃で-0.7℃-1.0℃それぞれ低目を示しているが、前月の大幅な低水温分布から徐々に平年並に復している。

※紀伊水道北部…14日実施した調査結果では東部は表・中層10.7℃内外を示し平年比較で-1.2℃内外、底層12.8℃ではほぼ平年並。中部は表・中層10.7℃で-0.6℃～-0.7℃低目、底層12.3℃ではほぼ平年並、西部は各層とも9.0℃で-0.5℃内外の低目で前月に引き続き低水温分布で経過している。

◎各地の漁況

(註：以下は1日1隻当りの平均漁獲量@、@は1キロ当りの平均単価、何隻は操業隻数)

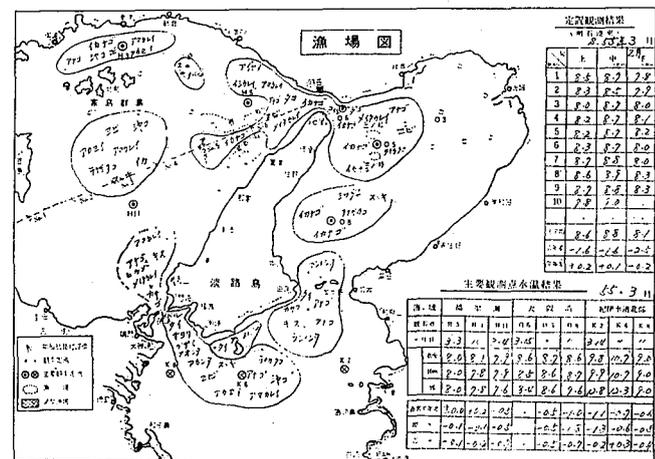
※明石浦…小型底曳網、メイタカレイ5キロ@6,000@3,000、アマカレイ10キロ@3,500@2,000、アイナメ8キロ@3,500@2,500、マダコ5キロ@1,750、アナゴ5キロ@600@1,800、8隻(大阪湾北西部)。メイタカレイ7キロ、アマカレイ10キロ、アイナメ5キロ、マダコ6キロ、アナゴ7キロ、エビ4キロ@3,000、テナガタコ10キロ@800、15隻(播磨灘東部)。カサゴ15キロ@2,500@30キロ@200、アイナメ5キロ、マダコ5キロ@2,500@2,000、5隻(明石海峡)。コイチ1,000キロ@550、5隻(明石海峡中央部)。曳網スズキ6キロ@2,800@2,000、アイナメ4キロ@4,000@3,000、35隻。メバル20キロ@3,000、3隻。延縄アマカレイ30キロ@4,000@2,00015隻。文鏡湾イシカレイ10キロ@1,750、5隻。イカナゴパッチ網(親魚)750キロ@120、25隻。

※岩屋…船曳網イカナゴ新仔1,300キロ内外@120～200、20統。小型底曳網コイチ30キロ@820、@600、シログチ7キロ@250、キス5キロ@2,000、その他、10キロ@1,000、17隻。一本釣アイナメ1キロ@3,800、メバル、カサゴ4キロ@2,000、30隻。延縄アナゴ60キロ@750@2,280、15隻。刺網キス9キロ@1,900、5隻。罾マダコ20キロ@2,300、3隻。

※由良…各小型底曳網マダイ5キロ@9,000、2隻。ウシノシタ30キロ@1,760、その他5キロ@400、50隻。アナゴ5キロ@2,200、アマガレイ5キロ@2,000、キス3キロ@1,600、その他10キロ@400、30隻。各刺網キス15キロ@1,700、7隻。アマカレイ8キロ@2,100、メバル7キロ@1,700、その他5キロ@800、10隻。各延縄キス10キロ@2,200、6隻。アマカレイ10キロ@2,200、4隻。アナゴ40キロ@2,100、5隻。カサゴ10キロ@1,700、3隻。各一本釣メバル5キロ@1,800、10隻。スズキ3キロ@1,700、10隻。カサゴ3キロ@1,600、30隻。突棒アワビ5キロ@2,800、サザエ1キロ@1,200、ナマコ5キロ@600、10隻。

※沼島…各小型底曳網テナガタコ35キロ@300、シヤコ20キロ@225、アナゴ8キロ@800、40隻。マダイ11キロ@3,300@2,500@2,000、10隻。一本釣マダイ4キロ内外@5,000@4,000@3,300、50隻。延縄アナゴ30キロ@800、3隻。刺網アジ30キロ@850、23隻。突棒アワビ5キロ@2,700、サザエ2キロ@1,000、8隻。

※福良…各小型底曳網アサヒ13キロ@1,000、シラサエビ2キロ@5,000@2,500カワツエビ1キロ@2,000、雑エビ2キロ@600、雑小エビ1キロ@200、ガザミ2キロ@3,000@1,200、その他30キロ@800、2隻。アイナメ6キロ@1,900、アカエイ5キロ@250、ヒラメ2キロ@6,000、カサゴ10キロ@1,500、メイタカレイ7キロ@3,800、マダコ2キロ@1,550、オコゼ1キロ@4,800、12隻。アマカレイ10キロ@活)1,000(死)200、イシカレイ5キロ@1,800～200、ガザミ@6キロ@600、コチ5キロ@1,200、メイタカレイ3キロ@3,500@2,500、アオシタ2キロ@2,200、10隻。船曳網サヨリ90キロ@865、19隻。撒網釣マダイ16キロ@4,350、スズキ23キロ@1,800、セイゴ18キロ@1,300、アイナメ2キロ@1,800、4組。一本釣カサゴ4キロ@1,600@1,200、メバル2キロ@1,500@1,000、13隻。各延縄アナゴ60キロ@900、7隻。カレイ12キロ@2,100、キス1キロ@2,500、6隻。アイナメ5キロ@2,000、カサゴ、メバル2キロ@1,200、ボテ3キロ@900、アワビ2キロ@2,200、6隻。各突棒マダコ2キロ@1,550、ナマコ(赤)15キロ@500、アワビ7キロ@2,500、10隻。ウニ25キロ@1,200、5隻。採貝アサリ50キロ@400、4隻。



困難な特定の赤潮予測

5月～9月には定期・臨時調査を計画

表2 昭和54年のホルネリアの増減(播磨灘) (個体数/ml)

調査月日	海域	点数	個体数(最大～最小)	
			型丸	紡錘型
5月7～8日	全北	19	0	0
5月25日	城部	12	0～140	0
6月4～5日	北余部	19	0～78	0
6月11日	城部	11	12～244	0～8
6月21日	"	11	4～292	0～6
7月2～3日	全中	21	0～66	0～60
7月17日	北東部	9	0～44	0～8
7月25日	城部	15	0～8	0～584
8月1～2日	全中	21	0	30～1392
8月5日	北東部	5	0	1～2538
8月9日	"	5	0	0～190
8月17日	北東部	10	0	0～358
8月23日	北東部	14	0	0
9月3～4日	全中	21	0	0

図1に昭和四十二年以後の瀬戸内海における赤潮発生件数の推移を示した。赤潮発生件数は昭和四十年代に入り急激に増加しているのがわかる。これは、赤潮抑制剤の収集体制の強化による増分も含まれるが、瀬戸内海が頻りに赤潮にさらされるようになったことを表わしている。長年に大阪湾と播磨灘の赤潮発生件数を示した。これを見ると、昭和

漁船安全シリーズ(1)

日本列島付近に長く横たわるように、前線が停滞し、各地に多大な災害をもたらすこの季節、河川の氾濫、増水等、皆さんの漁場には種々の浮流物が散在するであろうことは、ある程度予測されます。昨年一年間の統計をみましても、取扱い事故件数の三分の一が浮流物による、舵、プロペラの損害です。しかし

梅雨シーズン到来に一言

損害の程度を最少限に抑えたいとすることは出来ると思われます。この季節は特に、流出物が多いというところを念頭に置き、十分なる注意力で、安全

操業に従事していただけ、心掛けください。漁船保険組合では、数年来、事故防止を努力されたい旨を絶えず呼びかけるとともに、現地出向の際には、適切な指導を行ってほしいとの、その件数は、年を追って増加しているのが現状です。昨年までの事故発生状況を、分析いたしましたも

生じたホルネリアによるものは、昭和五十二年から昨までは、昭和五十年五月に発生したプロセントラム等の混合赤潮によるもので、昭和四十八年に赤潮発生したギムノディウムによる、はまぐりのへい死事件等がある。ここで特に注意しなければならぬのは、養殖等に、兵庫県だけで十

(ホルネリア赤潮)

ホルネリア赤潮は昭和四十七年に大発生し、ハマチの被害をきたした。続いて翌五十二年には七月下旬を中心に発生し、同じく、五、六千円の被害をきたした。さらに他の年に比べいくぶん規模が小さかったため、幸い兵なかつた。

五十四年のホルネリア発生状況 (播磨灘)

昨年(五月二十五日)の調査で初めて丸型のホルネリアが発見された。(表2)この丸型のホルネリアは、通常の紡錘型のホルネリア

赤潮の発生要因と予測

ホルネリアに限らず一般的に赤潮は、①化学物質(チン、リンなどの栄養物質・チタン、ピロチン[B12などのビタミン]・「鉄」Fe(マンガン)・「コバルト」Co)等の重金属・フミン酸のような有機キレート物質)が海中に必要量存在し、②適度な塩度(水質、塩分、降雨、日照、船尾混合、底層水の貧酸素化)のもとで発生すると考えられる。しかし、前記のような条件がどのようにつながった時に、どの

赤潮調査

昨夏のホルネリアの発生経過をふまえ、今夏は五月九日の間、毎月一回の定期調査と、赤潮発生時に臨時調査を実施する計画である。

詰め将棋

出題 佐瀬 勇次(八段)

(ヒント) 打歩詰めの解決策を考えて下さい。(考慮十分・初段程度)

解答をおよせ下さい。進軍いたします。(考慮十分・初段程度)

正解者多数の場合は抽選(送付先)のうち10名様に記念品を 兵衛運内拓水編集係

一 二 三 四 五 六 七 八 九

▲持駒 角歩

(解答は次号)

霧の多発期 船舶交通の安全に万全を

今年も本格的な濃霧期をむかえようとしています。昨年四月二十五日、霧による狭い海路のために明石海峡航路で発生した大型カーフがエリーとコンテナ船との衝突事故は社会的にも大きな反響を呼びおこしました。濃霧という致命的な悪天候

今年も本格的な濃霧期をむかえようとしています。昨年四月二十五日、霧による狭い海路のために明石海峡航路で発生した大型カーフがエリーとコンテナ船との衝突事故は社会的にも大きな反響を呼びおこしました。濃霧という致命的な悪天候

霧の多発期 船舶交通の安全に万全を

今年も本格的な濃霧期をむかえようとしています。昨年四月二十五日、霧による狭い海路のために明石海峡航路で発生した大型カーフがエリーとコンテナ船との衝突事故は社会的にも大きな反響を呼びおこしました。濃霧という致命的な悪天候

余裕の出力、曳き力抜群!

船用主機 ヤンマーディーゼル

3EH15 (定格15馬力 / 1440回転)

●船舶主機用3.0～2400馬力 ●船舶補機用3.5～3600馬力

ヤンマーディーゼル

養魚の調餌と造粒は コウベヒラガのミートチョッパーで

養魚用ミートチョッパー No.32からNo.72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付ミートチョッパーで給餌することもできます。

(御一報次第カタログ贈呈いたします)

ミートチョッパーとプレート、ナイフの専門工場

株式会社 平賀工作所

神戸市長田区水笠通5番5号 TEL.代表神戸(078)921-1527

